

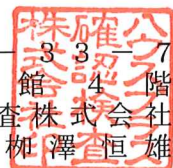


試験結果は以下のとおりであることを証明する。  
平成29年12月18日

受付日：平成29年11月1日  
受付番号：HP17-KT165

## 接合部性能試験成績証

東京都港区芝5-3-7  
徳栄ビル本館4階  
ハウスプラス確認検査株式会社  
代表取締役社長 柳澤恒雄



1. 接合金物名称	フックコーナー床合板仕様												
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1												
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。												
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部(隅柱型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。												
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「フックコーナー床合板仕様」 材 質：引張強さ490N/mm<sup>2</sup>以上、降伏点285N/mm<sup>2</sup>以上の炭素鋼 試験ではSS490(JIS G 3101)を用いた 寸 法：30mm×32mm×50mm(外形) 板厚t=1.6mm 接合具用孔 (柱側)2-φ6.5mm (横架材側)2-φ6.5mm 表面処理：なし</p> <p>2) 接合具</p> <p>柱側：「木ねじ TBA-65」 2本 材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.18~0.23%,Mn;0.70~1.00%,P;0.030%以下,S;0.050%以下 寸 法：頭部径φ9.3mm 胴部径φ5.5mm ねじ山径φ6.2mm ねじ谷径φ4mm L=65mm 表面処理：エコー特*1WH処理</p> <p>横架材側：「木ねじ TB-101」 2本 材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.18~0.23%,Mn;0.70~1.00%,P;0.030%以下,S;0.050%以下 寸 法：頭部径φ10.8mm 胴部径φ5.9mm ねじ山径φ6.2mm ねじ谷径φ4mm L=100mm 表面処理：エコー特*1WH処理</p> <p>3) 軸組材料</p> <table border="0"> <tr> <td>柱：105mm×105mm×600mm</td> <td>スギ 無等級材</td> </tr> <tr> <td>含水率：8.5~10.0%</td> <td>全乾密度：0.38~0.41g/cm<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>横架材：105mm×105mm×450mm</td> <td>スギ 無等級材</td> </tr> <tr> <td>含水率：8.0~10.5%</td> <td>全乾密度：0.38~0.42g/cm<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>床合板：105mm×105mm 厚さ30mm</td> <td>構造用合板 特類2級</td> </tr> <tr> <td>含水率：9.0~9.5%</td> <td>全乾密度：0.50~0.53g/cm<sup>3</sup></td> </tr> </table> <p>*1 エコー特は、NOFメタルコーティングス株式会社の登録商標</p>	柱：105mm×105mm×600mm	スギ 無等級材	含水率：8.5~10.0%	全乾密度：0.38~0.41g/cm <sup>3</sup>	横架材：105mm×105mm×450mm	スギ 無等級材	含水率：8.0~10.5%	全乾密度：0.38~0.42g/cm <sup>3</sup>	床合板：105mm×105mm 厚さ30mm	構造用合板 特類2級	含水率：9.0~9.5%	全乾密度：0.50~0.53g/cm <sup>3</sup>
柱：105mm×105mm×600mm	スギ 無等級材												
含水率：8.5~10.0%	全乾密度：0.38~0.41g/cm <sup>3</sup>												
横架材：105mm×105mm×450mm	スギ 無等級材												
含水率：8.0~10.5%	全乾密度：0.38~0.42g/cm <sup>3</sup>												
床合板：105mm×105mm 厚さ30mm	構造用合板 特類2級												
含水率：9.0~9.5%	全乾密度：0.50~0.53g/cm <sup>3</sup>												
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 試験体の固定：柱芯より横架材木口側に200mmの位置で角座金W4.5×40及びM12ボルト・M12ナットを用いて鉄骨架台に緊結した。(締付トルク管理値：20N・m) また、加力時に試験体の偏心を防止する為のサポート治具を設けた。												
7. 試験結果	短期基準接合耐力 <b>5.4</b> kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)												
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター：神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24												
9. 試験実施日	平成29年11月29日												
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 宇山 善博												

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。